

産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分類名	実践教育制度併設コース
-----	-------------

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・ 専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専修学校名	関西外語専門学校	分野区分	文化教養
課程名	国際文化専門課程	修業年限	2年
学科名	アジア語文ビジネス学科	学科定員数	120名
学科開設年月日	平成14年4月1日	学科実員数	118名
コース設置年月日	平成23年7月1日	推奨年度	平成28年度
当該学科の教育目標	母語と日本語の高い運用能力と実務能力を身につけた人材の育成		
就職を目指す職業	旅行業を始めとする観光関連産業、文化交流関連産業		
入学案内への記載	過去の就職実績: ホテルニューオータニ、ジャッツ関西など		
当該学科に対する学生のニーズ		当該学科に対する企業・業界のニーズ	
観光関連産業、文化交流産業で役立つ知識の習得 社会で通用するコミュニケーション力の習得		現場で通用するホスピタリティと実習で培われた高度な 言語運用能力を身につけた人材の確保	

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成27年度実施内容

提携企業名 (業界名)	(株)ジャッツ関西(旅行業)、(株)旅行綜研(旅行業)		
コースの目標	駅や空港での案内業務やホテルでの現場実習を経験することにより実務の厳しさとやりがいを学び、即戦力となる人材を育成する。		
企業等との提携内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	企業と本校で実習を想定したカリキュラムを作成する。 本校ではそのカリキュラムに基づき事前研修を実施。 受入企業では現場実習を指導し、評価を本人と学校にフィードバックする。		
コース内容 ※企業現場実習など	事前研修: 業態理解、仕事の流れ、商品知識、ペアワークによる模擬練習など 現場実習: フロント、料飲部門などでの実習。または駅校内を巡回しての案内実務を担当者とともに経験し、最終的にはひとりで巡回できるよう指導を受ける。 事後研修: 現場実習の振り返りを学校で実施。		
提携契約期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日		
提携教育期間	20時間(週間)×8回(160時間相当)※推奨年度の実際の提携教育期間を記載		
コース受講生の 募集・選定方法	年度当初に実習内容・労働条件などを告知し提携企業の説明会を実施。 受講希望者は学校側で面談のうえ選別、最終的には企業で決定。		
履修認定	履修認定時間／総授業時間	賃金支払	企業評価の有無
有	160時間／900時間	有	有
評価方法	学校	事前研修の評価に企業評価を加えて最終評価を作成。	
	企業	7項目5段階の研修評価を実施。	
学生への支援・ 配慮事項	研修前面談でカウンセリング、研修中では現場実習期間中に必ずカウンセリングを実施し、ミスマッチがないかを確認するとともに学生のメンタル面をサポートする。		

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策(自由記述)

就業開始2~3か月後に近況調査で連絡をとり、カウンセリングをおこなっている。
企業側の担当者と定期的に情報交換をおこなっている。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 25 年度	平成 26 年度(見込)
a. 学科修了者数	30 名	40 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	26 名	35 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	20 名	25 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	7 名	10 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	12 名	15 名
f. 「b」のうち、進学者数	1 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等	ホテルニューオータニ、ハイアットリージェンシー大阪、(株)ジャッツ関西、関西エアポートエージェンシー、アルファ化研、シンコーハンガー	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 6 名(中退率 3.8%)
b. 平成26年4月1日在学者 157 名(平成26年4月入学者を含む)
c. 平成27年3月31日在学者 151 名(平成27年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
経済的理由、進路変更(就職)
ウ. 中退防止のための取組
経済的理由に対しては奨学金や教育ローンの案内 進路変更についてはカウンセリングなど。

7 学校関係者評価の実施・公表

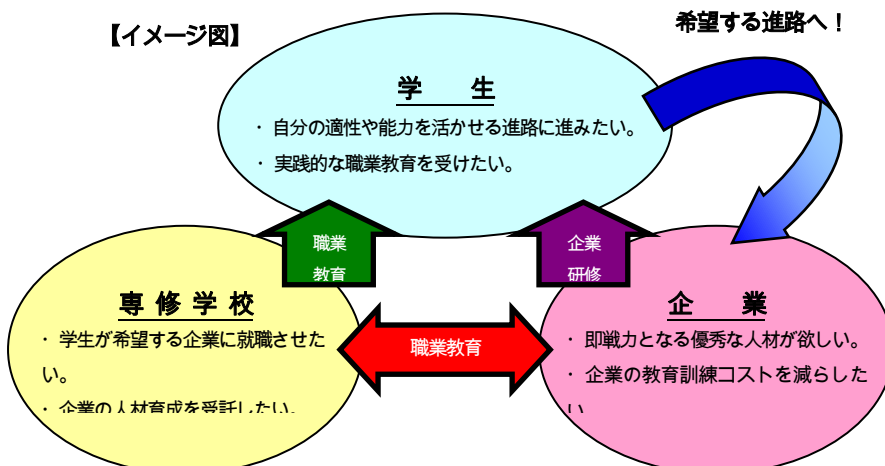
・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.tg-group.ac.jp/kansaigaigo/kg/>

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。